

第2回新町建設計画小委員会議事日程

日時 平成16年2月27日(金)午後1時30分

場所 忠類村コミュニティセンター大ホール

日程 番号	議 件 名
1	開会
2	委員長あいさつ
3	会議録署名委員の指名
4	諸般の報告
5	3町村の既存の総合計画の比較について(説明)
6	3町村の現状と課題について(説明)
7	新町将来構想の方向性について(意見交換)
8	閉会

十勝中央合併協議会 第2回新町建設計画小委員会議案

日時：平成16年2月27日（金）午後1時30分

会場：忠類村コミュニティセンター大ホール

3町村の既存の総合計画比較表

町村名	将来像	基本目標	施策
幕別町	めぐみ野に人が輝き笑顔ふれ あうまちまくべつ	自然と調和した快適で住みよいまち	土地利用 道路・交通 住宅・住環境 公園・緑地 環境・衛生 上水道 下水道・排水処理 情報基盤
		地域の特性を生かした活力あるまち	農業 林業 工業 商業 観光 労働
		安らぎと生きがいのあるまち	高齢者福祉 障害者福祉 児童福祉 社会福祉 地域福祉活動 社会保障 保健・医療 防犯
		心豊かな人と文化を育むまち	防災・交通安全 消防・救急 消費生活 墓地 生涯学習 学校教育 社会教育 芸術・文化 歴史的文化 スポーツ・レクリエーション
		人と人がふれあうまち	コミュニティ 男女共同参画社会 地域間交流
		町民とともに歩むまち	住民参加 行財政運営 広域行政
更別村	ときめきゆめ大地さらべつ <協創プラン5つの展開> 健康で心ふれあう夢大地 うるわしい文化の夢大地 パワーみなぎる夢大地 快適環境の夢大地 知恵と活力を集める夢大地	自然を生かした村の基盤をつくる	土地利用 市街地・集落整備 自然環境 道路網 交通・通信機能 公園緑地・景観 環境保全・美化
		快適で安全な生活を送れるむらをつくる	住宅・住環境 上下水道 ごみ・し尿 消防・救急 交通安全・防犯 防災・雪対策
		力強い産業で次代を拓くむらをつくる	農業生産基盤 農業経営 林業・内水面 商工業 観光 勤労者・消費対策
		健康でやすらぎに満ちたむらをつくる	保健・健康 医療 地域福祉 高齢社会対策 障害者(児)福祉 児童福祉 母子・父子福祉 国民健康保険 国民年金
		心豊かな人と文化を育むむらをつくる	生涯学習 学校教育 社会教育 文化 スポーツレクリエーション 青少年育成・女性活動
		参加と交流を進め新しい時代を支えるむらをつくる	コミュニティ活動 参加・交流によるむらづくり 広報・広聴 行政体制 健全財政
忠類村	大地に愛され緑輝くやすらぎ のふるさと	新しい時代に対応した活力ある産業の村づくり	農業 林業 商工業 観光 地場産品 特産品
		創造性豊かな人と文化を育む村づくり	生涯学習 学校教育 社会教育 文化 郷土芸能 芸術 スポーツ
		健やかで思いやりある村づくり	医療・健康 地域福祉 高齢者福祉 障害者(児) 児童 母子・父子 社会保障 高齢者生きがい
		豊かな自然と共生した住みよい村づくり	自然保護 農村景観 ごみ・し尿 土地利用 交通 除排雪 情報化 防災 消防・救急・防犯
		住民とともに歩む魅力あふれる村づくり	行政体制 職員能力開発 事務事業見直し 広域行政 財政基盤 財政運営 コミュニティ 広報・広聴 情報公開 地域間交流 国際化

人口と世帯数の推移

1 人口の推移

3 町村の人口の推移を見ると、幕別町では、近年の活発な宅地造成や企業の進出を背景に、増加傾向が顕著に現れている。更別村と忠類村では、人口の減少は続いているが、ここ数年は、宅地造成や公営住宅等の建設、定住促進施策の効果で横ばいの状態にある。

(資料1 ページ人口の)

2 世帯数の推移

3 町村の世帯数の推移を見ると、幕別町では、人口の増加と核家族化の影響から、世帯数の増加が著しい。更別村と忠類村では、人口の減少に反比例して、急速な核家族化の影響から世帯数は上昇傾向にある。

(資料1 ページ人口の)

分野別現状と課題

1 基盤整備の現状と課題

市街地・集落

都市部と農村部という異なった市街地を有している3町村においては、均衡ある発展が必要であるが、幕別町本町地区について人口減少傾向にあり、更別村、忠類村の市街地とともに、定住化を促進するための宅地開発や空き店舗対策を含めた魅力ある商店街の整備をはじめ、それぞれの地域特性を生かした具体的な市街地整備計画を策定する必要がある。

また、帯広市に隣接した幕別町札内地区は、国道38号沿線への大型店の進出に併せて、民間の宅地開発により、市街地の外縁的拡大が続いていることから、今後も地区計画制度等により、適正な土地利用を図っていく必要がある。

一方、集落においては、それぞれの個性を生かした地域づくりを進める必要がある。

(資料3 ページ市街地別人口の)

土地利用

3 町村の土地利用は、市街地域、農村地域、森林地域などに区分され、それぞれ独自の土地利用を展開してきたところであるが、今後は、さらに地域の特

性を生かしながら計画的、合理的な土地利用を進める必要がある。

(資料3 ページ土地利用の)

道路網・交通

新町においては、国道・道道などの主要幹線道路や、それらにアクセスする幹線道路の整備とともに、主要公共施設や帯広空港、高規格幹線道路のインターチェンジなどへアクセスする幹線道路網についても整備が必要である。

一方、それら主要幹線道路などにおいては、子どもや高齢者など交通弱者に対する交通手段の確保が必要である。

(資料3 ページ道路の)

公園緑地・景観

3町村においては、それぞれ広大な面積を生かした規模の大きな特色ある公園があり、それらに関連する施設も充実している。

今後は、パークゴルフ場を含め、これらの維持管理の手法の検討と、それらの施設を生かしたまちづくりが必要である。

また、農業を中心とした十勝らしい景観を保全し、観光資源につなげていくことも必要である。

(資料4 ページ公園の 、14ページ公共施設の)

上下水道

上下水道の整備水準は3町村に差があることから、地域に応じた整備計画を作成し、計画的に水準を上げていくことが必要である。

(資料4 ページ上水道・下水道の)

環境衛生

ゴミのリサイクルについては、それぞれの町村において既に取り組みされているが、今後は、ゴミの減量化に向けたPRの強化とともに、資源化のための方策の検討を深めていくことが必要である。

また、地球温暖化防止のための省エネルギーの取り組みを新町に広げていくことも必要である。

(資料4 ページ廃棄物処理の 、5ページ廃棄物処理の)

情報基盤

新町は、南北に長くなっており、一つの自治体として円滑に融合するために

は、庁舎間や主要な公共施設を結ぶ情報基盤の整備や、日常生活に密着した情報の共有化を図る仕組みなど、早急に地域間の連携を強める情報ネットワークを構築し、住民の一体性を醸成することが必要である。

住宅・住環境

高齢者の占める割合が高まることから、今後も見込まれることから、誰もが安全で安心して生活できる住環境の整備とともに、公営住宅の建設事業等、高齢化に対応した計画的な整備が必要である。

一方、まちの活性化を図るうえでも定住促進が新町の大きなキーワードとなることから、分譲団地の造成をはじめ、更なる住環境の整備を考えることも必要となる。

(資料5 ページ住宅の)

2 生活安全の現状と課題

消防・救急

3町村においては、各町村ともに広域事務組合を組織し、消防、救急体制の強化充実を図っているが、面積が広大となる新町においては、人命、財産の保全に対する迅速な対応が可能な体制の整備が必要となる。

(資料5 ページ消防・救急の)

交通安全・防犯

3町村においては、各町村ともに交通安全・防犯対策の強化充実を図っているが、新町は、都市部と農村部が一体となったまちとなるため、地域の特性に応じた交通安全・防犯対策を講じる必要がある。

防災

3町村においては、各町村ともに防災計画を策定し、防災対策を図っているが、新町は広大な面積を有することとなるので、予測のできない災害が発生した場合、その被害を最小限に抑える体制の整備を図るとともに、住民が一体となった防災意識の醸成が必要となる。

除排雪

3町村においては、各町村ともに民間委託を中心に除排雪業務を行っているが、今後も、冬期間における道路交通網の確保は、生活、産業等すべての面に

において必要不可欠であることから、円滑、効率的な除排雪体制の整備が必要となる。

(資料5 ページ除排雪の)

3 産業の現状と課題

農業

3町村の農業は、これまで畑作・酪農などの大規模な土地利用と、より生産性の高い経営を展開し、地域の重要な基幹産業として位置付けられている。

しかしながら、今日の農業を取り巻く環境は、農畜産物の輸入自由化に伴う価格の下落や農業者の高齢化と担い手不足、農地の遊休化傾向などさまざまな課題を抱え、極めて厳しい状況にある。

今後とも、新町の基幹産業として力強く発展していくためには、これらの課題への対応とともに、環境と調和しながら消費者が求める安全・安心な食料を供給する農業生産を積極的に推進する必要がある。

(資料6 ページ農業の ~ 7 ページ農業の)

林業

今日、林業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、それらが育林意欲を阻害している現状にある。このため、民有林の中で特に近年耕地防風林が激減し、地域における防風機能が大きく低下するなど、農地の環境保全に極めて深刻な影響を与えている。

今後は、これまでの森林に対する経済林としての捉え方だけでなく、公共林として森林が持つ多面的な機能を一層維持保全していくため、森林組合や木材産業の育成などによる活力ある林業の推進を図るとともに、森林を守り育てる持続的な管理が必要である。

(資料8 ページ林業の)

内水面

現在、幕別町と更別村に民間による淡水魚の養魚場があり、内水面漁業が活発に行なわれてきた。今後は、内水面と畑地との自然環境の調和を図りながら、水産資源の保護と淡水魚の生産振興を図るための取り組みを奨励していく必要がある。

商業

幕別町札内地区では、近年の人口の増加とともに大型の商業施設が相次いで

進出し、都市型の商業形態が形成されているが、その他の地域においては、近年の車社会の発展と大型商業施設の影響を受け、厳しい経営を余儀なくされている。

このため、地域商店街の均衡ある発展と、地域に根ざした商業者の育成、さらには交通手段を持たない購買弱者への対策などを講じる必要がある。

(資料9 ページ商工業の)

工業

工業の事業所数は、圧倒的に幕別町が多い反面、農村地域においては、企業にとっての立地条件が十分でないため、企業誘致の促進が難しいのが現状である。

今後は、農村地域の豊富な食品の加工原料と搬入コストが低いという利点を生かして、産地での二次加工による付加価値を促進するなど、地域の資源と人と消費地が有機的に結びつく地場産業の振興を積極的に推進することが必要である。

(資料9 ページ商工業の)

観光

3町村では、特色ある観光資源をそれぞれ有しており、それらの特色を生かした観光振興施策を推進してきたところであるが、近年の観光客が減少傾向にあるとともに、観光客の多くが通過型観光であり、滞在する観光となっていない状況にある。

このため、今後は農業・農村の美しい景観と地域の食資源を生かした特色ある参加型・体験型の観光づくりを積極的に推進し、滞在型の観光を柱に、観光客の誘致や広域観光の展開を促進させるなど、魅力ある観光の取り組みが必要である。

(資料9 ページ観光の)

労働

雇用環境は、3町村共通して極めて厳しい状況にあり、地場産業の育成などによる新たな雇用の場を創出することが課題となっている。

特に、学卒者の就業をはじめ、高齢者や障害者の雇用の場を確保することは、勤労者の安定した生活を保障するのみならず、地域経済に対しても少なからず影響を及ぼすことなどから、産業全体の振興策の一つとして位置づけ、積極的に取り組む必要がある。

(資料9 ページの労働の 、10ページ労働の)

4 保健・医療・福祉の現状と課題

保健医療

診療施設の現状としては、3町村とも一次医療施設が中心となっており、専門医療及び高度医療分野は、帯広市内の医療機関に依存している現状にある。また、2村においては、地域医療の確保の問題があげられている。

一方、各種検診や疾病予防などは、3町村とも年々健康に対する関心の高まりとともに、色々な角度からの事業を展開しているが、全体的には、受診者が固定化傾向にある。

今後は、医療・福祉、保健及び教育との連携を図り、乳幼児から高齢者までの総合的な保健サービスが提供できる体制を確立するとともに、広範囲なニーズに対応する地域の医療体制の充実を図る必要がある。

(資料10ページ保健・医療・福祉の)

地域福祉

3町村とも、民生委員、児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体などによる地域での福祉活動が活発に展開されているが、複雑化、多様化する住民ニーズに対応するため、幅広く、より専門的な福祉サービスの提供が求められている。

このため、今後は、誰もが等しくサービスを受けられるよう、地域福祉のあり方を検討していくことが必要である。

高齢者福祉

急激な高齢化・核家族化の進行、寝たきり高齢者や一人暮らし高齢者の増加など、支援を必要とする高齢者への福祉の充実は、今後ますます重要な課題となっている。

高齢者施策に対するニーズは多様化し、増大しつつあることから、福祉・保健・医療分野が連携した施策を講じ、地域において自立した生活を行えるよう、社会全体で高齢者を支えるきめ細かなシステムづくりが必要である。

(資料10ページ保健・医療・福祉の)

障害者(児)福祉

障害のある人が地域社会に積極的にかわり、自立と社会参加が営まれるような環境づくりが課題となっている。

このため、住民の意識啓発やボランティア活動などにより、障害者を地域ぐるみで支え合うとともに、関係機関と連携を深めながら、在宅サービスの充実

を図り、ノーマライゼーションの理念に基づいたやさしいまちづくりを進める必要がある。

また、障害者が地域社会の中で自立し、社会参加ができるよう障害者の状況に応じたきめ細かい対応が必要である。

(資料10 ページ保健・医療・福祉の)

児童福祉

児童福祉施設としては、3町村とも保育所、幼稚園などの施設をそれぞれ有しているが、最近の女性の就労機会の増大などにより、地域にあった多様なニーズへの対応が求められている。

また、3町村独自に行なわれている、児童福祉のソフト事業においては、事業メニューや住民負担などに格差が生じている。

今後は、よりよい環境のもとで、心身ともに健やかに育つような子育て支援体制の強化と、地域環境づくりが必要となる。

(資料11ページ保健・医療・福祉の)

母子・父子福祉

母子・父子家庭については、その多くは、就労、子育て、住宅など多くの問題を抱えている。このため、3町村とも医療費の助成や児童扶養手当の支給など、母子・父子福祉の向上に努めてはいるが、子育てなどにより就労が容易でないことなどから、民生児童委員などと連携した取り組みと各種相談事業などの充実が必要である。

アイヌ福祉

幕別町は、アイヌの人たちが 社会的、経済的に安定した生活を営むことができるための施策を展開しており、今後も、引き続き施策を継続していく必要がある。

国民健康保険

3町村とも医療費が年々増加する中で、保険税と医療費のバランスが取れない状況が続いている。特に、急激な高齢化の進展に伴い老人医療費の増加が著しく、この傾向は今後も続くことが予想される。

今後は、国民健康保険税の適正な課税と被保険者の健康づくり、医療費の抑制などを図る必要がある。

(資料11ページ保健・医療・福祉の)

5 教育・文化の現状と課題

生涯学習

多様化、高度化する学習ニーズに対応するため、現在3町村で行っている生涯学習事業の体系化と一元化を進め、学校や地域団体等との連携を図りながら、推進体制の整備を図る必要がある。

(資料14ページ公共施設の)

学校教育

3町村とも、それぞれの特色を生かした学校運営を行ってきたが、今後は、地域の意向を尊重しながら教育環境の整備や通学区域の変更などを検討する必要がある。

また、少子化の進展などによる教育環境の変化に伴い、地域の特性を生かした学校教育を進めるとともに、各学校施設整備の格差を解消することが必要である。

(資料11ページ学校・通学の ~12ページ学校・通学の)

社会教育

3町村においては、それぞれ独自に特色ある学習メニューや事業を行なってきたが、今後は、それらを体系化するとともに、指導者の育成と交流を図り、さらに施設間のネットワークの構築や施設の効率的な運営に努めることが必要である。

(資料14ページ公共施設の)

文化・スポーツ

3町村では、これまで多くの団体が地域の特性を生かした活発な活動を行なってきたが、今後は、それぞれの団体の交流・連携を図るとともに、地域独自の文化や歴史を次の世代に継承していくことが必要である。

また、それぞれのまちに現存する文化・スポーツ等に係る団体の統合については、団体の意向を踏まえて慎重に検討する必要がある。

(資料14ページ公共施設の)

6 住民活動と行政体制の現状と課題

コミュニティ活動・住民参加

3町村においては、過疎化、核家族化などにより住民の共同意識、連帯感が

弱まる傾向にあるが、今後は、住民の連帯意識は必要不可欠なものであることから、住民の自主的な活動を奨励し、住民参加による地域に根ざしたコミュニティ活動を促進することが必要である。

(資料14ページ公共施設の)

広報広聴

住民の意識やニーズは日々変化してきている中、新町において進めるまちづくりも、行政と住民が一体となって進めていくことが求められている。

このため、行政の推進にあたっては、住民への情報提供、情報公開の徹底とともに、住民のニーズを的確に把握する体制が必要となる。

行政体制

地方分権の進展により市町村が果たすべき役割は増大しつつある。

今後は、新町における本庁や支所等の組織機構のあり方などを検討し、社会情勢や住民ニーズに迅速かつ的確に対応できる行政体制の整備を図る必要がある。

(資料13ページ職員数・特別職・議会議員・各種委員会の ~)

財政運営

住民の多様なニーズに応える行政を支えていくためには健全な財政を維持していく必要があるが、最近の税財源移譲などによる交付税や補助金の急激な削減により、新町においても厳しい財政運営が予想される。

このため、計画的な行財政改革の徹底を基本とするとともに、適切な事業の選択や受益と負担の適正化による財源の確保など、節度ある財政運営に努めることが必要となる。

(資料14ページ財政状況の ~ 15ページ財政状況の)

広域行政

3町村においては、十勝圏域、ブロック圏域で複数の広域行政を展開してきている。効率的・効果的な行政を進めるうえでは、新町においても引き続き広域行政を推進する必要があるが、消防をはじめ、異なる圏域の広域行政の再編においては、関係市町村の意向に配慮するとともに、広域行政の目的を生かした調整が必要である。

(資料16ページ広域行政の)

地域間交流

3町村では、地域の特性を生かした交流をそれぞれ進めているが、新町においても、特色を生かしたまちづくりを推進するため、それぞれの地域の個性を大切に、幅広い交流の展開が必要である。

新町将来構想の方向性について（意見交換用メモ）

1 基盤整備
土地利用

市街地・集落

道路網・交通

公園緑地・景観

上下水道

環境衛生

情報基盤

住宅・住環境

2 生活安全

消防・救急

--

交通安全・防犯

--

防災

--

除排雪

--

3 産業

農業

--

林業

--

内水面

--

商業

--

工業

--

観光

--

労働

--

4 保健・医療・福祉

保健医療

--

地域福祉

--

高齢者福祉

--

障害者（児）福祉

--

児童福祉

--

母子・父子福祉

--

アイヌ福祉

--

国民健康保険

--

5 教育・文化
生涯学習

--

学校教育

--

社会教育

--

文化・スポーツ

--

6 住民活動と行政体制
コミュニティ活動・住民参加

--

広報広聴

--

行政体制

--

財政運営

--

広域行政

--

地域間交流

--